

# SKY DOG<sup>®</sup> SPORT

vol.5

日本フリスビードッグ協会主催



PURINA SKYDOG CHAMPIONSHIPS

ピュリナ スカイドッグ チャンピオンシップ ジャパン ファイナル

# JAPAN FINAL 2003 in KOBE



**2冠**

第10回グランドチャンピオンシップ記念大会  
第1回世界選手権

## JFAメンバーの皆さんへ



本年度、最後となる最大のイベント「JAPAN FINAL2003」が11月1日～3日（3日間開催）が大盛況の中、無事終了致しました。

本大会は協会設立から10周年を迎え、まさに記念すべき大会！そしてフリスビードッグ誕生となった時を思い出されるかのように、ベースボールスタジアム『Yahoo!BBスタジアム』での開催をすることができました。つきましては、今年一年間多大なるご支援を賜りましたスポンサー各社様のお力添えと、JFAメンバーの皆さまのご協力があったの開催が出来たことを、心から感謝致しております。

今年のジャパンファイナルは第1回世界選手権も同時開催となり、2003年2月アメリカで行われた世界チャンピオン、ポプ・エバンス&ニックの参戦と、韓国からの招待選手も参加していただき、国際色豊かな世界選手権も実現できました。3日間でのノミネート参加選手は北海道から九州までの500チームとなりました。又、2003年度表彰式典&ウェルカムパーティーの参加者も150名という多数の参加で賑わっていました。

11月3日（最終日）はあいにくの小雨模様の中での開催となりましたが、3日間での来場者数は7,000名という事でした。素晴らしい会場と大観衆の中でのプレーは最高の名誉であり、心に残った大会になった事と思います。又、観戦のお客様もフリスビードッグの魅力と醍醐味を身近で感じ、良き思い出として家路に着いた事と思います。

2004年度の開幕は、通年ですと1月からのスタートとなっておりますが、メンバーの皆さまより12月からの開催要望が多く、協議の結果、12月第2週が開幕戦となりました。

2004年度も素晴らしい一年となるよう、もう一度初心に戻りスタッフ一同頑張っていく決意でございます。

### フリスビードッグ協会2004年度公式選手権開催予定表

開催日	開催地	会場
12/13(土)～14(日)	兵庫県赤穂郡	播磨科学公園都市芝生広場
12/20(土)～21(日)	東京都品川区台場	東八潮都立潮風公園「太陽の広場」
12/20(土)～21(日)	大阪府堺市	築港八幡町「海とふれあい公園」



## 第1日目

パーク・クリーンアップ・ウォーク  
ユースオープンの部  
小型犬の部  
シニアドッグの部  
ペアの部



PURINA SKYDOG CHAMPIONSHIPS  
PURINA JAPAN FINAL  
2003 in KOBE



一日目、早朝7時から始まった「パーク・クリーンアップ・ウォーク」。イベントには、参加者をはじめとする約100人が集まり、愛犬と共に会場となったYahoo!BBスタジアムを取り囲む公園をUSAからのゲストを交え、準備運動を兼ねてのごみ拾いをしました。

▲ジャパンファイナル2003、最初の競技種目となったのは、小型犬の部ファイナル。全国からの小型犬ファイナリストは25チーム。各地で行われた大会の各チーム5大会のベストポイント合計でノミネートが決定されました。



小型犬の部

2位 木村宏 1位 梅田良平 3位 後藤公彦  
& マル & コニー & 磨

小型犬の部、2001年から連続ノミネートをされ、念願の優勝を飾ったのは、梅田良平&コニーチーム。予選ラウンド、決勝ラウンド共にパーフェクトプレーを見せ、堂々の優勝を果たしました。

▲ユースオープンの部では、各都道府県の代表としてベスト5チームがノミネートを受け、ジャパンファイナルに進出し、個人別の争い、そして都道府県ごとの団体戦としての争いをします。そのチーム数、134チーム。

ユースオープンの部（個人戦）  
2位 小井正 1位 森川耕平 3位 佐藤茂  
&セリアーノ &弁慶 &マロン



ユースオープンの部（団体戦）

2位 山口県 1位 和歌山県 3位 宮崎県  
チーム チーム チーム

決勝ラウンドには、和歌山県からの代表選手2チームが進出し、この時点で団体戦の優勝は、ほぼ決定しました。残るは個人別の優勝をかけた決勝ラウンド。結果、和歌山県の代表、森川耕平&弁慶チームが137チームの頂点に立ちました。



シニアドッグの部

2位 井上弘之 1位 原英雄 3位 石田牧彦  
&DIZZY &ピラス &サラ

▲シニアドッグの部は、7歳以上のシニア犬がエントリーできる大会として、全国の大会でのベスト15チームがノミネートされる大会です。シニアドッグとはいえ、まだまだ現役といわんばかりの元気なフリスビードッグたちの戦いは熱く繰り広げられました。優勝は、原英雄&ピラスチーム。優勝有力候補であった井上弘之&DIZZYチームを3ポイントの僅差で破り、優勝を飾りました。



ペアの部

2位 藤田由紀 1位 杉山美里 3位 水越里絵  
飛弾野文泰 新倉謙吾 水越徹  
&ラン &音々 &せれ

▲ペア大会の部、大会の中でも、毎回盛り上がりを見せるペア大会。二人と一匹の息の合うところを見せることが重要となるペア大会。ファイナルにノミネートされたペアは、いずれも息の合ったチームばかり。その中でも、若さでの勝利か、21歳と19歳の男女のペア、杉山美里・新倉謙吾&音々チームが、大会最高ポイントとなる116ポイントで優勝。



## 小型犬の部優勝

梅田 良平&コニー

コニーとフリスビーを始めて約3年になります。

コニーはごはんよりフリスビーが大好きで、ほっとけば1日中フリスビーで遊んでると思います。

昨年のファイナルでは僕の詰めが甘くとても悔しい思いをしました。

「来年こそは！」と思い気合いを入れて練習しました。

その甲斐があって今年は年間の1位をとり、ファイナルでは「日本一」になる事が出来ました。

ファイナルでもそうですが、今シーズンもコニーはすごく頑張ってくれました。「ありがとう」

また新たな目標と共にコニーとフリスビーを続けていきたいと思えます。

最後に応援して下さいみなさんありがとうございます。

これからも宜しくお願いします。



## シニアドッグの部優勝

原 英雄&ピアス

まさに夢のような瞬間が、待っていました。

「シニアドッグの部！優勝は、原 ピアスチーム！」のコールが会場に響き渡り、まさかと思いつつ周りから祝福の拍手がピアスにそして、私に送られてきてはじめて、「やったー！」と思わずコート側の側で叫んでいました。

信じられないと思いながら、会場を埋め尽くした皆さん方のあたたかい拍手を受けながらコートを1周するうちに、今までのピアスとの思い出が頭の中をかけめぐり、本当に最高の舞台を演じてくれたという感謝の気持ちで一杯になりました。

ピアスは、気持ちのやさしい、いつも控えめな女の子で、みんなにかわいがられてきました。

ある時、何気なく始めたフリスビーで遊んでいると、友人から大会に1度出てみないかと誘われ、京都のある大会に初めて出場し、入賞した事からこの世界にはまってしまいました。

最初は、未熟な投げてとのコンビがなかなかみ合わず、思うような結果がでませんでした。

そんな時、ピアスのジャンプ力を生かせないかと、フリーフライトに転向し、こんなに楽しそうに遊んでくれるピアスを見て、のんびりとする事が出来たら充分だと思ひ、こつこつと頑張った結果2年前のファイナルにフリーで初出場を果たしました。そして、今年ピアスも8才になり、シニアに出場した結果、優勝というとてもない褒美を頂いて本当に喜んでます。

会場であたたかい声援を送ってくださった皆さん、そして今まで色々とお世話になった方々に心からありがとうと言いたいです。それから、ピアスの小さい頃、遊び相手となり、また大会会場ではテントの影から応援してくれていた、サラねえちゃんも、天国から喜んでくれていることでしょう…。

これからも元気一杯をモットーに、楽しんでいければと思っています。

最後にピアスに本当にありがとう～。



## ペアの部優勝

杉山 美里・新倉 謙吾&音々

今シーズンは私にとって厳しい出だしでした。

受験のために、去年のファイナル以降半年間のブランクが開き、スローが安定しなく、何度場外に投げたことか(笑)。謙吾くん・音々ちゃんとペアを組むことになったものの、初戦、第2戦は投げ出しのタイミングも合わず足を引っ張ってしまいました。

夏以降には、音々ちゃんとのタイミングが合い、「謙吾くんがなんとかしてくれる」という安心感もあり、緊張することなく投げられるようになりました。

ファイナルではさすがに緊張しましたが、きれいな芝の上で楽しくプレーでき、また、結果も出せて本当にうれしく思います。今シーズン、下手なスローもフォローして、見事にキャッチしてくれた音々ちゃん、すばらしいスローをしてくれた謙吾くんに感謝感謝です!!

JFAの皆様、遠征でお世話になった皆様、本当にありがとうございました!! ……来シーズン北海道にもぜひ来て下さいね☆

## ユースオープンの部(団体戦)優勝

森川 耕平・淀川 和馬(和歌山県)

「フリスビードッグ」というものに初めて出会ったのは1年前。嫁さんに連れて行かれたクラブ和歌山の講習会ででした。そこで、スタッフの方の投げるすばらしいスロー、愛犬とピッタリ息の合ったプレーを見て目が覚める思いをしました。実際にフリスビーを投げてみて、その楽しさと難しさにすっかり虜になってしまい、近所のグラウンドで弁慶と向日葵を相手に草フリスビーの日々が始まりました。

そして今年の4月。知らない間に嫁さんにエントリーされていて参加した、地元和歌山での大会。この時に大会の楽しさを知り、その後もちょこちょこ大会に出るようになって、なんとかユースの和歌山代表としてファイナルに参加させて頂くことができました。それだけでも信じられないような話なのに、自分の所属する和歌山チームが優勝できたなんて夢のようでした。

こんな、一生の思い出に残るような経験ができたのも、「フリスビードッグ」の認知度がほとんど無かった和歌山でクラブ和歌山を立ち上げ、フリスビーの楽しさを教えて下さったクラブ長、そして暖かくご指導下さったクラブ長はじめスタッフの方々のおかげです。

これからも和歌山勢の一員として、弁慶と向日葵をパートナーにがんばっていきたいと思います。

クラブ和歌山、サイッコ~~~~~!!!



## ユースオープンの部(個人戦)優勝

森川 耕平&弁慶

初めて参加したファイナル。会場の熱気と周りの高レベルな出場者の方々に圧倒されて1Rが始まる前から緊張でガチガチでした。

そして迎えた1R目では、産まれて初めて「足が地に着かない」という経験をした程の緊張で頭の中は真っ白。自分が何をしているのかさえよく分からないような状態でした。

でも、今日の弁慶は試合中にキョロキョロと大会見学をする訳でもなく、かわいい女の子に見とれる訳でもなく、抜群のフォローを決めてくれました。

2R目では「結果は残せなくてもいい。せっかくここまで来たんだから弁慶と一緒に楽しもう！」と割り切り、いい感じの興奮状態でプレーする事ができたと思います。

そして決勝R。まさか決勝まで残れるなんて夢にも思っていませ

んでしたが、今までにないくらい集中して僕の事を見つめてくれて  
いる弁慶の気持ちに応えられるような結果を出したい!と思いまし  
た。「弁慶、思いっきり走ってこい!!」

今だに優勝できたなんて信じられませんが、ここまで連れてきて  
くれた弁慶への感謝の気持ちでいっぱいです。弁慶、本当にありが  
とう。一生コンビ組んでいこうな!

最後になりましたが、いつも暖かく見守って下さっているクラブ

和歌山・関西本部の皆様、会場や各地で熱  
い声援を下さった皆様、常にバックアップ  
してくれる家族のみんな、  
一番の応援者の嫁さん。本当に本当にあ  
りがとうございました!!



## ◆ユースオープンの部 (個人戦) (2003年11月1日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
優勝	森川 耕平	和歌山県	弁慶	ボーダーコリー	20	30	29	79
準優勝	小井 正	大阪府	セベリアーノ	ボーダーコリー	20	31	26	77
3位	佐藤 茂	宮崎県	マロン	ボーダーコリー	19	30	26	75
4位	古谷 和正	千葉県	エリカ・フォンティーヌ	Aシェパード	30	28	14	72
5位	斉藤 昇	山口県	さくら	ボーダーコリー	31	24	16	71
6位	本田 美樹	青森県	アッシュ	ラブラドル	31	17	21	69 (21)
7位	淀川 和馬	和歌山県	ユウ	ボーダーコリー	21	28	20	69 (20)
8位	藍澤 隆治	東京都	ヨーゼフ	Aシェパード	25	30	14	69 (14)
9位	加藤 昌宏	埼玉県	レスカ	Aシェパード	28	19	16	63
10位	小峰 泉	埼玉県	リン	ボーダーコリー	30	24	12	66
11位	福本 義裕	茨城県	ミニヨン	ボーダーコリー	27	18		45
11位	田中 勝則	兵庫県	遥	ボーダーコリー	27	18		45
13位	山本 勝	静岡県	モネ	ダルメシアン	30	14		44
13位	安心院 創一郎	岐阜県	ジュリア	ボーダーコリー	29	15		44
13位	井上 弘之	東京都	DIZZY	ボーダーコリー	25	19		44
13位	寺裏 敏人	大阪府	JOY	ラブラドル	21	23		44
13位	谷口 雄紀	福岡県	SAI	ボーダーコリー	15	29		44
18位	倉田 達郎	山口県	ガンジー	ウエルシュコーギー	25	18		43
19位	榊原 吉隆	愛知県	ウェンディ	ボーダーコリー	23	19		42
20位	高橋 秀樹	長野県	ピット	ボーダーコリー	19	22		41
20位	小澤 陽子	静岡県	サラ	ボーダーコリー	24	17		41
20位	河村 哲晴	熊本県	レネ	ラブラドル	17	24		41
23位	田中 信彦	奈良県	ウッディー	ラブラドル	16	24		40
23位	荻野 隆行	大阪府	ココ	ラブラドル	15	25		40
23位	河村 悦郎	新潟県	淀姫	ラブラドル	16	24		40
23位	千田 聖治	岡山県	ルーナ	ボーダーコリー	20	20		40
27位	今井 正男	千葉県	マックス	ボーダーコリー	19	20		39
27位	宮迫 裕二	京都府	トラッド	ボーダーコリー	16	23		39
27位	杉尾 敬三	愛媛県	MEL	ボーダーコリー	15	24		39
30位	大麻 洋之	神奈川県	ファア	ウエルシュコーギー	16	22		38
30位	篠原 晴彦	新潟県	ピノ	ボーダーコリー	31	7		38
32位	空野 正志	兵庫県	マギー	ラブラドル	14	23		37
32位	久保 晋一	大阪府	みゆら	ボーダーコリー	24	13		37
32位	小諸 一男	新潟県	メグ	ゴールデン	18	19		37
32位	仲兼久 幸司	福岡県	ルイス	ボーダーコリー	14	23		37
32位	山田 芳樹	岐阜県	CrazyMax	ボーダーコリー	19	18		37
37位	瀧浦 慶樹	大阪府	リコ	ボーダーコリー	24	12		36
37位	片岡 裕貴	香川県	ゆーり	ボーダーコリー	18	18		36
37位	丸島 康裕	千葉県	JANIS	ラブラドル	23	13		36
37位	阪野 錠一	愛知県	キトラ	ボーダーコリー	17	19		36
37位	島本 圭悟	徳島県	Paul	ボーダーコリー	19	17		36
42位	大埜 進	岐阜県	セシル	ボーダーコリー	16	19		35
42位	福本 紗良	茨城県	フィーユ	ボーダーコリー	24	11		35
42位	大埜 幸二	愛知県	ウォレス	ボーダーコリー	24	11		35
45位	早津 隆	千葉県	サエ	ウエルシュコーギー	24	10		34
45位	坪井 一俊	岡山県	クロ	ボーダーコリー	34	0		34
45位	千葉 光敏	北海道	マジック	ボーダーコリー	17	17		34
45位	石井 修	千葉県	ナナ	ラブラドル	22	12		34
49位	上田 昌二	兵庫県	ルナ	ジャックラッセル	15	18		33
49位	本郷 雅英	富山県	笑	柴犬	17	16		33
49位	衣笠 拡敬	兵庫県	キャンディー	ストロングアイ	21	12		33
52位	斉藤 武志	新潟県	キララ	ボーダーコリー	10	22		32
52位	小野 晃弘	茨城県	しま	ボーダーコリー	18	14		32
52位	中條 克美	三重県	ハナ	ボーダーコリー	21	11		32
52位	正木 成人	奈良県	さくら	フラットコートテッド	21	11		32
56位	大島 敏正	愛知県	ベル	ラブラドル	8	23		31
56位	安心院 真代	岐阜県	チャッピー	ボーダーコリー	20	11		31
56位	秋沢 東白	神奈川県	チロ	ボーダーコリー	19	12		31

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
56位	山六 靖孝	兵庫県	龍	ボーダーコリー	16	15		31
56位	大沢 弘和	北海道	ホリー	ラブラドル	16	15		31
56位	山崎 幸	高知県	サンダーボルト桃花	ボーダーコリー	10	21		31
62位	増田 健	東京都	風子	Aシェパード	25	5		30
62位	大沢 久枝	北海道	ジャック	ラブラドル	11	19		30
62位	宮永 小百合	長崎県	シエル	ボーダーコリー	20	10		30
62位	富永 和彦	奈良県	アンリ	ESスパニエル	16	14		30
62位	稲葉 有紀	滋賀県	ウィンク	ボーダーコリー	21	9		30
62位	宮川 裕子	鹿児島県	もね	ウエルシュコーギー	14	16		30
62位	中村 和則	福岡県	ブルー	ボーダーコリー	13	17		30
69位	八木 逸郎	新潟県	チンクチェント	ラブラドル	14	15		29
69位	長浦 重光	長崎県	ダイナマイト菊	ボーダーコリー	12	17		29
69位	白石 雅己	愛媛県	ショウ	ボーダーコリー	13	16		29
69位	筒 禎永	福岡県	アッシュ	ボーダーコリー	21	8		29
69位	山田 ヒロ子	岐阜県	Can2	Aシェパード	19	10		29
69位	青木 正章	三重県	ハッピーゴブリン	ボーダーコリー	8	21		29
69位	重広 高正	大阪府	アッシュ	ボーダーコリー	12	17		29
69位	横山 まゆみ	高知県	アクセル	ボーダーコリー	12	17		29
77位	小川 憲次	神奈川県	DAN	ボーダーコリー	15	13		28
77位	宮口 真理	北海道	アルカ	ボーダーコリー	14	13		27
77位	代田 幸道	長野県	チャオ	ボーダーコリー	6	21		27
77位	深沢 久夫	群馬県	エディ	ボーダーコリー	14	13		27
77位	松本 毅	青森県	ノエル	ボーダーコリー	19	8		27
82位	諸岡 孝洋	広島県	JAM	ウエルシュコーギー	20	6		26
82位	馬淵 和明	京都府	ルキ	ボーダーコリー	16	10		26
82位	藤原 親	奈良県	ハジメ	ウエルシュコーギー	17	9		26
82位	伊藤 圭介	広島県	せな	ウエルシュコーギー	18	8		26
82位	中川 剛彦	広島県	菜々子	ラブラドル	8	18		26
87位	水越 駿	東京都	せれ	ボーダーコリー	21	4		25
87位	楠本 治義	広島県	レイチェル	ラブラドル	19	6		25
87位	永田 亨	静岡県	RandyBass	ボーダーコリー	7	18		25
87位	北村 覚	京都府	可憐	NZハンタウェイ	13	12		25
87位	吉野 寿枝	熊本県	モーガス	ウィベット	11	14		25
87位	平岩 砂也子	群馬県	スカリー	ボーダーコリー	18	7		25
93位	山本 健二	長崎県	クライム	ボーダーコリー	19	5		24
94位	富田 和利	愛知県	花丸	ボーダーコリー	12	11		23
94位	原 英雄	滋賀県	オペラ	ボーダーコリー	12	11		23
94位	益田 健	静岡県	アンジー・ショコラ	ボーダーコリー	11	12		23
94位	喜多 秀樹	岡山県	さくら	ボーダーコリー	5	18		23
94位	須藤 充	新潟県	モア	ボーダーコリー	12	11		23
99位	大井 章弘	栃木県	コー助	ウエルシュコーギー	17	5		22
99位	上野平 ミユキ	佐賀県	ラリー	シェルティ	15	7		22
101位	西内 勲	広島県	アニー	ゴールデン	5	16		21
102位	富永 吉信	静岡県	Moore	アイリッシュセター	16	4		20
102位	小林 弘典	岡山県	ミル	ラブラドル	6	14		20
102位	関 浩寿	埼玉県	小太郎	ウエルシュコーギー	15	5		20
102位	野口 まどか	熊本県	ガスト	ラブラドル	8	12		20
102位	上野 平寛	佐賀県	レオン	ボーダーコリー	11	9		20
102位	安川 茂之	京都府	ジャスティー	ラブラドル	14	6		20
108位	福本 聡子	茨城県	NOA	ボーダーコリー	15	4		19
108位	大西 宏昭	奈良県	アンジュ	フラットコートッド	0	19		19
108位	松尾 直美	長崎県	GLAY	ボーダーコリー	11	8		19
111位	友広 祐也	北海道	リズ	ラブラドル	13	5		18
112位	西澤 真美	徳島県	フォックス	ウエルシュコーギー	11	6		17
113位	大西 浩司	神奈川県	ひめ	Aシェパード	16	0		16
113位	河上 徳次	福岡県	フジ子	Bターピュレン	0	16		16
113位	半澤 保則	長崎県	アルティミス・ラブ	ラブラドル	16	0		16
113位	太田 征樹	愛知県	まりも	ダルメシアン	4	12		16
113位	西澤 賢祐	徳島県	ティナ	Bターピュレン	11	5		16
118位	堤 英登	佐賀県	ラック	ボーダーコリー	9	6		15
118位	浜出 功	宮城県	チャイ	Aシェパード	7	8		15
118位	島本 富生	徳島県	Paul	ボーダーコリー	10	5		15
118位	浅木 仰二	神奈川県	パパゲーノ先生	ボーダーコリー	12	3		15
122位	西川 正洋	京都府	エコル	ゴールデン	6	6		12
122位	高橋 宏光	高知県	RON	ボーダーコリー	0	12		12
122位	村本 哲也	熊本県	フォーリング☆スター	ミックス	12	0		12
125位	橋本 純	群馬県	クレア	ボーダーコリー	8	3		11
126位	西川 順子	熊本県	チロル	ラブラドル	10	0		10
126位	半明 知佳	香川県	アール	ボーダーコリー	4	6		10
128位	山崎 祐輔	高知県	ラガー	ボーダーコリー	0	8		8
129位	数本 健	福井県	ピクシー	ボーダーコリー	7	0		7
129位	徳永 博子	高知県	SUN	ボーダーコリー	0	7		7

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
131位	畑中 松雄	三重県	アルファ	フラットコーテッド	6	0		6
131位	宮川 浩一	鹿児島県	ココ	ウエルシュコーギー	6	0		6
133位	長谷川 幸二	埼玉県	マリン	ボーダーコリー	5	0		5
134位	福尾 舞	岡山県	RUNA	ラブラドル	3	0		3

## ◆ユースオープンの部（団体戦）（2003年11月1日）

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	チーム平均合計ポイント
優勝	淀川 和馬 森川 耕平	和歌山県	ユウ 弁慶	ボーダーコリー ボーダーコリー	49.5
準優勝	斉藤 昇 倉田 達郎	山口県	さくら ガンジー	ボーダーコリー ウエルシュコーギー	49
3位	佐藤 茂	宮崎県	マロン	ボーダーコリー	49
4位	石川 修 古谷 和正 丸島 康裕 今井 正男 早津 隆	千葉県	ナナ エルカ・フォンティーンヌ JANIS マックス サエ	ラブラドル Aシェパード ラブラドル ボーダーコリー ウエルシュコーギー	40.2
5位	寺裏 歎人 小井 正 重広 高正 荻野 隆行 久保 晋一 瀧浦 慶郎	大阪府	JOY セベリアーノ アッシュ ココ みゆら リコ	ラブラドル ボーダーコリー ボーダーコリー ラブラドル ボーダーコリー ボーダーコリー	39.5
6位	井上 弘之 藍澤 隆治 水越 駿 増田 健	東京都	DIZZY ヨーゼフ せれ 風子	ボーダーコリー Aシェパード ボーダーコリー Aシェパード	38.5
7位	松本 毅 本田 美樹	青森県	ノエル アッシュ	ボーダーコリー ラブラドル	37.5
8位	衣笠 拓敬 上田 昌二 山六 靖孝 田中 勝則 空野 正志	兵庫県	キャンディー ルナ 瀧 遥 マギー	ストロングアイ ジャックラッセル ボーダーコリー ボーダーコリー ラブラドル	35.8
9位	山田 芳樹 安心院 創一郎 山田 ヒロ子 安心院 真代 大埜 進	岐阜県	CrazyMax ジュリア Can2 チャッピー セシル	ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー	35.2
10位	高橋 秀樹 代田 幸道	長野県	ビット チャオ	ボーダーコリー ボーダーコリー	34
10位	杉尾 敬三 白石 雅己	愛媛県	MEL ショウ	ボーダーコリー ボーダーコリー	34
12位	須藤 充 篠原 晴彦 河村 悦郎 小諸 一男 斉藤 武志 八木 逸郎	新潟県	モア ピノ 淀姫 メグ キララ チンク・チェント	ボーダーコリー ボーダーコリー ラブラドル ゴールデン ボーダーコリー ラブラドル	33.16
13位	本郷 雅英	富山県	笑	柴犬	33
14位	福本 義裕 福本 紗良 小野 晃弘 福本 聡子	茨城県	ミニオン フィーユ しま NOA	ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー	32.75
15位	長谷川 幸二 加藤 昌宏 関浩 寿 小峰 泉	埼玉県	マリン レスカ 小太郎 リン	ボーダーコリー Aシェパード ウエルシュコーギー ボーダーコリー	31.5
16位	谷口 雄紀 仲兼久 幸司 河上 徳次 間 禎永 中村 和則	福岡県	SAI ルイス フジ子 アッシュ ブルー	ボーダーコリー ボーダーコリー Bターピュレン ボーダーコリー ボーダーコリー	31.2
17位	小澤 陽子 永田 亨 益田 満 山本 勝 富永 吉信	静岡県	サラ RandyBass アンジー・ショコラ モネ Moore	ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー ダルメシアン アイリッシュセター	30.6

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	チーム平均合計ポイント
18位	大坪 幸二 太田 征樹 榊原 吉隆 阪野 鋭一 富田 和利 大島 正	愛知県	ウォレス まりも ウェンディ キトラ 花丸 ベル	ボーダーコリー ダルメシアン ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー ラブラドル	5
19位	正木 成人 富永 和彦 藤原 親 田中 信彦 大西 宏昭	奈良県	さくら アンリ ハジメ ウッディー アンジュ	フラットコーテッド ESスパニエル ウエルシュコーギー ラブラドル フラットコーテッド	29.4
20位	千葉 光敏 大沢 弘和 友広 祐也 大沢 久枝 宮口 真理	北海道	マジック ホリー リス ジャック アルカ	ボーダーコリー ラブラドル ラブラドル ラブラドル ボーダーコリー	28
21位	稲葉 有紀 原 英雄	滋賀県	ウィンク オペラ	ボーダーコリー ボーダーコリー	26.5
22位	浅木 仰二 小川 憲次 秋沢 東白 大麻 洋之 大西 浩司	神奈川県	パパゲーノ先生 DAN チロ ファア ひめ	ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー ウエルシュコーギー Aシェパード	25.6
23位	西内 勲 中川 剛彦 伊藤 圭介 楠本 治義 諸岡 孝洋	広島県	アニー 菜々子 せな レイチェル JAM	ゴールデン ラブラドル ウエルシュコーギー ラブラドル ウエルシュコーギー	24.8
24位	安川 茂之 北村 覚 馬淵 和明 宮迫 裕二 西川 正洋	京都府	ジャスティー 可憐 ルキ トラッド エコル	ラブラドル NZハンタウェイ ボーダーコリー ボーダーコリー ゴールデン	24.4
25位	千田 聖治 喜多 秀樹 福尾 舞 坪井 一俊 小林 弘典	岡山県	ルーナ さくら RUNA クロ ミル	ボーダーコリー ボーダーコリー ラブラドル ボーダーコリー ラブラドル	24
26位	山本 健二 松尾 直美 宮永 小百合 半澤 保則 長浦 重光	長崎県	クライム GLAY シェル アルティミス・ラブ ダイナマイト菊	ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー ラブラドル ボーダーコリー	23.6
27位	半明 知佳 片岡 裕貴	香川県	アール ゆーり	ボーダーコリー ボーダーコリー	23
28位	中條 克美 青木 正章 畑中 松雄	三重県	ハナ ハッピー・ゴブリン アルファ	ボーダーコリー ボーダーコリー フラットコーテッド	22.33
29位	大井 章弘	栃木県	コー助	ウエルシュコーギー	22
30位	河村 哲晴 吉野 寿枝 西川 順子 野口 まどか 村本 哲也	熊本県	レネ モーガス チロル ガスト フォーリング☆スター	ラブラドル ウィペット ラブラドル ラブラドル ミックス	21.6
31位	島本 富生 西澤 貴祐 島本 圭悟 西澤 真美	徳島県	Paul ティナ Paul フォックス	ボーダーコリー Bターピュレン ボーダーコリー ウエルシュコーギー	21
31位	平岩 砂也子 橋本 純 深沢 久夫	群馬県	スカリー クレア エディ	ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー	21
33位	上野平 ミユキ 上野 平寛 堤 英登	佐賀県	ラリー レオン ラック	シェルティ ボーダーコリー ボーダーコリー	19
34位	宮川 裕子 宮川 浩一	鹿児島県	もね ココ	ウエルシュコーギー ウエルシュコーギー	18
35位	山崎 幸 横山 まゆみ 山崎 祐輔 徳永 博子 高橋 宏光	高知県	サンダーボルト桃花 アクセル ラガー SUN RON	ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー ボーダーコリー	17.4
36位	浜出 功	宮城県	チャイ	Aシェパード	15
37位	薮本 健	福井県	ピクシー	ボーダーコリー	7

## ◆小型犬の部 (2003年11月1日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
優勝	梅田 良平	大阪府	コニー	ウエルシュコーギー	34	24	34	92
準優勝	木村 宏	東京都	マル	ウエルシュコーギー	26	26	30	82
3位	後藤 公彦	埼玉県	麿	ウエルシュコーギー	32	28	14	74
4位	福原 芳郎	兵庫県	ミミ	ジャックラッセル	25	23		48
5位	大森 洋之	神奈川県	ファア	ウエルシュコーギー	30	17		47
6位	緒賀 友繁	大阪府	ワンダー	ビーグル	18	28		46
7位	岡 祐司	千葉県	ダイゴロウ	ウエルシュコーギー	30	14		44
8位	吉岡 達浩	岡山県	ダーズリン	ウエルシュコーギー	24	18		42
9位	牧浦 嵩史	京都府	カロン	ウエルシュコーギー	17	24		41
10位	宮川 浩一	鹿児島県	もね	ウエルシュコーギー	16	24		40
10位	関 浩寿	埼玉県	小太郎	ウエルシュコーギー	31	9		40
12位	倉田 達郎	山口県	ガンジー	ウエルシュコーギー	14	24		38
12位	石崎 泰範	埼玉県	マイロ	ジャックラッセル	25	13		38
14位	中尾 園枝	北海道	胡桃	ウエルシュコーギー	12	22		34
14位	古東 優子	大阪府	ギィ・スポーツ	ウエルシュコーギー	12	22		34
16位	畔出 裕隆	東京都	フライアン	ジャックラッセル	8	22		30
17位	伊藤 圭介	広島県	せな	ウエルシュコーギー	8	21		29
17位	藤原 親	奈良県	ハジメ	ウエルシュコーギー	16	13		29
19位	神田 陽一	新潟県	睦月	ウエルシュコーギー	6	22		28
20位	溝尾 雅広	広島県	エリス	ウエルシュコーギー	18	9		27
21位	郷津 潤	大阪府	佐助	ウエルシュコーギー	8	17		25
22位	柳 諭	広島県	ニット	ウエルシュコーギー	15	8		23
22位	志茂野 千香子	静岡県	マル	ウエルシュコーギー	18	5		23
24位	橋田 泰伸	岐阜県	はな	ウエルシュコーギー	6	0		6

## ◆シニアドッグの部 (2003年11月1日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
優勝	原 英雄	滋賀県	ピラス	ラブラドル	30	21	24	75
準優勝	井上 弘之	東京都	DIZZY	ボーダーコリー	31	28	14	73
3位	石田 牧彦	栃木県	サラ	ボーダーコリー	26	28	11	65
4位	大島 康雄	埼玉県	アル	ミックス	26	14		40
5位	志茂野 千香子	静岡県	マル	ウエルシュコーギー	12	21		33
6位	谷端 賢二	兵庫県	アルフ	ラブラドル	15	7		22
7位	八木 逸郎	新潟県	リスキー	ラブラドル	8	10		18
8位	浜出 功	宮城県	パニラ	ゴールデン	5	10		15

## ◆ペアの部 (2003年11月1日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
優勝	杉山 美里 新倉 謙吾	北海道	音々	ボーダーコリー	39	38	39	116
準優勝	藤田 由紀 飛弾野 文泰	北海道	ラン	ボーダーコリー	37	36	21	94
3位	水越 里絵 水越 徹	東京都	せれ	ボーダーコリー	37	25	25	87
4位	稲葉 有紀 稲葉 秀昭	滋賀県	ウィンク	ボーダーコリー	30	31		61
5位	吉田 恵子 沢井 利依	愛知県	花梨	ボーダーコリー	30	25		55
6位	松澤 典子 川崎 福子	兵庫県	グレイス	ファラオハウンド	23	31		54
7位	米谷 好江 米谷 克一	大阪府	ライア	ボーダーコリー	24	30		54
8位	中尾 園枝 宮口 真理	北海道	蝦夷羽流	ボーダーコリー	30	22		52
9位	佐々木 美香 佐々木 義貴	岩手県	チェック	ボーダーコリー	13	37		50
10位	小川 千恵 小川 憲次	神奈川県	DAN	ボーダーコリー	22	27		49
11位	福尾 恵美 福尾 光一	岡山県	RUN2	ボーダーコリー	16	32		48
12位	田口 佳奈 田口 久善	岡山県	LOVE	ボーダーコリー	17	14		31

## 第2日目

### レディースチャンピオンシップ A.W.I World Championships

- ・フリーフライト部門
- ・ディスタンス部門
- オープンクラス
- レディースクラス

### 第10回ジャパンファイナル記念トーナメント大会



レディースチャンピオンシップ  
2位 大沢久枝 1位 田口佳奈 3位 横山まゆみ  
&サム &SENNA &ナミ  
4位 稲葉有紀 5位 吉田恵子  
&ウィンク &花梨

▲全国からノミネートされた、レディーストップチーム39チームで争われた、レディースチャンピオンシップ。女性の熱い戦いが繰り広げられました。ランキングトップでノミネートを受けたのは、女性初の100ポイント越えの日本記録を持つ、田口佳奈&SENNAチーム。それを追隨するか後半戦に伸ばしてきた、北は北海道の、大沢久枝&サムチーム。決勝ラウンドでは、予想通りこの2チームが入ってきました。結果、優勝ポイントは、100ポイントに迫る勢いを見せた、田口佳奈&SENNAチーム。95ポイントでの堂々の優勝を果たしました。



A.W.Iフリーフライト部門  
2位 早川利幸 1位 BobEvans 3位 飛弾野文泰  
&BEET &Nick &紋次郎  
4位 城本英巳 5位 森田薫  
&パンチ &マリ

▲Ashley Wippet Invitational Canine Frisbeedisc World Championships in Japan. (A.W.I) 注目の人といえば、2003年Ashley Wippet Invitational Canine Frisbeedisc World Championships.で優勝をし、栄誉あるランダーカップを手中に収め、世界チャンピオンとして、今大会のために来日をした、ボブ・エバンス氏と愛犬ニック。



高さのある見事な演技を、ここYahoo!BBスタジアムでも披露してくれました。特に180度の宙返りを見事に決めながらの、バタフライフリップは、世界一の完成度を誇ります。

第2ラウンドディスタンスでも、確実にポイントを重ね、日本の代表選手をおさえ、見事優勝。世界の實力を見せつけました。

また、A.W.Iディスタンス部門でも、確実なロングスローを決め、94ポイントで第3位入賞を果たしました。A.W.Iディスタンス部門優勝は、日本記録を保持する新倉謙吾が音々とのチームで106ポイントで優勝。



A.W.Iディスタンス部門オープンクラス

2位 飛弾野文泰 1位 新倉謙吾 3位 BobEvans  
&ラン &音々 &Nick  
4位 間禎永 5位 川瀬重治  
&グラス &マリ



A.W.Iディスタンス部門レディースクラス

2位 片岡千賀子 1位 田口佳奈 3位 稲葉有紀  
&ゆーり &LOVE &ウィンク



第10回 記念トーナメント

2位 丸島康裕 1位 今村英喜 3位 荻野隆行  
&JENNIFER &WEED &ココ

# PURINA SKYDOG CHAMPIONSHIPS JAPAN FINAL 2003 in KOBE 参戦記



## レディースチャンピオンシップ優勝

田口 佳奈 & SENNA

昨年に続いてのレディースチャンピオンシップ。  
ドキドキしている中、続々と高ポイントが出てきて、いろんな不安でしかたありませんでした。

そんな中、私とSENNAの順番がきました。

第一投目、右に反れた少し低いスローをSENNAがナイスキャッチしてくれたおかげで、二投目から順調にスローすることが出来ました。2R、決勝共に大きなミスもすること無く、ジャパンファイナルの大舞台で94ポイントという高ポイントが出せました。

2年連続で優勝することが出来て、とても嬉しかったです。

ウィーニングランの後、沢山の人たちに「おめでとう」と言われて、思わず泣いてしまいました。

今年は沢山の人たちに助けられました。

でも、やっぱりSENNAが一番助けてくれました。

ほんとうに「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。

来シーズンも、SENNAと力を合わせて、仲よしコンビでガンバルぞ！



## A・W・Iディスタンス部門オープンクラス優勝

新倉 謙吾 & 音々

前日ペアの部優勝という事もあり、勢いはあった。「音々」「希々」2頭でのエントリー、2頭とも今年は本当に良く頑張ってくれた。

1R、先に希々とフィールドに立つ。Ready Go!! …体が固い。イメージが沸かない。いつものスローじゃない。やはり緊張してい

た。それでも懸命に走る希々には済まない事をした。

そして、このままじゃいけない事を希々に学んだ。それを何とか音々に生かす事ができ、1投ミスはあったものの31P、2Rは攻めていく。

希々とは名誉ばんかいの34P、音々とは初の40P、惜しくも希々は8位に終わったが良くやってくれた。音々は攻めの40Pで2位で決勝Rへ…。

いよいよ決勝R、いつにも増しての大声援、心地よい緊張感。あつという間の1分間、会心のスロー、最高の走り、そして納得の35P、Total106P、悔いはない、やるだけやった、後は待つだけ。

結果優勝することができた。本当に嬉しかった。音々、希々、応援してくれた皆、一緒にプレーした選手達全てに感謝し、またこのような舞台に立てる事を夢見て…。

ありがとうございました。



## A・W・Iディスタンス部門レディースクラス優勝

田口 佳奈 & LOVE

LOVEとコンビを組んでから、もう4年が経ちました。

佳奈のヘナチョコスローをいつもいつもナイスキャッチしてくれていました。

そんなLOVEと初のA・W・Iディスタンス部門レディースクラス。LOVEは今回とても頑張ってくれました。2Rに場外スローもしたけど、LOVEのおかげで優勝することが出来ました。

LOVEのおかげでこんなに夢中になれる事を見つかり、とても嬉しく思っています。

LOVE、来シーズンもヨロシクね！



## ◆レディースチャンピオンシップ (2003年11月2日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
優勝	田口 佳奈	岡山県	SENNA	ボーダーコリー	32	35	27	94
準優勝	大沢 久枝	北海道	サム	ボーダーコリー	32	28	29	89
3位	横山 まゆみ	高知県	ナミ	ボーダーコリー	28	30	26	84
4位	稲葉 有紀	滋賀県	ウインク	ボーダーコリー	23	26	17	66 (17)
5位	吉田 恵子	愛知県	花梨	ボーダーコリー	23	30	13	66 (13)
6位	田口 佳奈	岡山県	LOVE	ボーダーコリー	28	30		58
7位	福本 紗良	茨城県	ラッキー	ボーダーコリー	23	24		47
7位	秋沢 東白	神奈川県	チロ	ボーダーコリー	21	26		47
9位	福尾 美穂	岡山県	RUNA	ラブラドル	23	22		45
10位	岡 美加	福岡県	グラス	ボーダーコリー	28	16		44
10位	安田 教子	神奈川県	ガーフィー	ボーダーコリー	16	28		44
10位	大沢 久枝	北海道	ホリー	ラブラドル	16	28		44
13位	古谷 美和	千葉県	YU-NO	ラブラドル	13	30		43
13位	青柳 愛佳	北海道	ライフ	NZハンタウェイ	27	16		43
13位	安心院 真代	岐阜県	ジュリア	ボーダーコリー	26	17		43
16位	本田 美樹	青森県	アッシュ	ラブラドル	26	14		40
17位	岩野 加奈子	福岡県	ニオロ	ボーダーコリー	13	25		38
17位	岡田 僚子	東京都	ルーガー	ボーダーコリー	17	21		38
17位	谷口 博子	福岡県	SAI	ボーダーコリー	12	26		38
17位	松尾 直美	長崎県	NOVA	ボーダーコリー	13	25		38
21位	大久保 泰子	東京都	アロ〜ハ♪	ボーダーコリー	15	22		37
22位	井上 裕子	東京都	ゆふ	ボーダーコリー	28	8		36
23位	杉山 美里	北海道	芽衣	ラブラドル	3	32		35
23位	杉本 恵子	北海道	ミキちゃん	ラブラドル	23	12		35
23位	梅田 美智子	大阪府	コニー	ウエルシュコーギー	21	14		35
26位	片岡 千賀子	香川県	ゆーり	ボーダーコリー	20	14		34
26位	大谷 靖枝	東京都	いであ	ボーダーコリー	20	14		34
26位	瀧浦 容子	大阪府	リコ	ボーダーコリー	12	22		34
29位	永田 明美	静岡県	RandyBass	ボーダーコリー	14	18		32
29位	原 昌美	滋賀県	パトラ	ボーダーコリー	16	16		32
31位	福尾 美穂	岡山県	RUN2	ボーダーコリー	17	13		30
31位	松澤 典子	兵庫県	グレイス	ファラオハウンド	14	16		30
33位	太田 由紀	愛知県	まりも	ダルメシアン	15	14		29
34位	小西 和夏	大阪府	パーティーナイン	ラブラドル	11	17		28
35位	長谷川 政代	埼玉県	マリソ	ボーダーコリー	14	13		27
36位	沢井 利依	愛知県	ジャスティー	ボーダーコリー	11	15		26
37位	五十嵐 久実	茨城県	チョッパー	ボーダーコリー	16	9		25
38位	鱈坂 由美	茨城県	ベル	ボーダーコリー	6	18		24
39位	田中 伊都子	大阪府	メロディー	ボーダーコリー	10	11		21

## ◆A・W・フリーライト部門 (2003年11月2日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
優勝	Bob Evance	米国	NICK	Aシェパード	37.0	15.0	36.0	88.0
準優勝	早川 利幸	千葉県	BEAT	ボーダーコリー	35.0	15.0	33.0	83.0
3位	飛弾野 文泰	北海道	紋次郎	ボーダーコリー	33.5	12.5	33.5	79.5
4位	城本 英巳	北海道	パンチ	ミックス	31.5	14.5	30.0	76.0
5位	森田 薫	神奈川県	マリ	Gシェパード	34.0	9.5	32.0	75.5
6位	加藤 昌宏	埼玉県	レスカ	Aシェパード	32.0	10.0	33.0	75.0
7位	石田 博英	千葉県	レックス	ボーダーコリー	29.5	12.5	30.0	72.0
8位	多々良 憲司	神奈川県	Core	ボーダーコリー	33.0	8.5		41.5
9位	倉科 純子	長野県	りん	ボーダーコリー	33.0	8.0		41.0
10位	倉科 政文	長野県	ティナ	Aシェパード	31.5	9.0		40.5
11位	松尾 至	長崎県	GLAY	ボーダーコリー	31.5	8.5		40.0
11位	小川 憲次	神奈川県	DAN	ボーダーコリー	33.0	7.0		40.0
11位	橋 達也	埼玉県	FENDI	ミックス	33.0	7.0		40.0
14位	村上 行弘	千葉県	Kelly	ボーダーコリー	35.0	4.5		39.5
15位	加藤 昌宏	埼玉県	ジェイ	ウエルシュコーギー	29.5	8.5		38.0
15位	原 淳一	千葉県	Fine	ボーダーコリー	34.5	3.5		38.0
17位	吉田 生一	兵庫県	サスケ	ボーダーコリー	31.0	6.5		37.5
17位	石田 博英	千葉県	蘭蘭	ボーダーコリー	32.0	5.5		37.5
17位	横田 利丸	東京都	こなつ	ボーダーコリー	33.5	4.0		37.5
20位	黒田 昌克	兵庫県	シャオロン	ボーダーコリー	29.0	8.0		37.0
21位	Kim Jong Nan	韓国	ウォル	ボーダーコリー	30.0	5.0		35.0
22位	南 浩一	兵庫県	ロッキー	ボーダーコリー	28.0	6.5		34.5
23位	田井 ひかる	兵庫県	TANKO	フラットコートテッド	31.5	2.5		34.0
24位	石田 富美江	千葉県	フライ	ボーダーコリー	28.0	3.0		31.0
25位	中尾 朋子	大阪府	アル	Gシェパード	27.0	3.0		30.0

## ◆A・W・ディスタンス部門オープンクラス (2003年11月2日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
優勝	新倉 謙吾	北海道	音々	ボーダーコリー	31	40	35	106
準優勝	飛弾野 文泰	北海道	ラン	ボーダーコリー	36	40	24	100
3位	Bob Evance	米国	NICK	Aシェパード	32	32	30	94
4位	岡 禎永	福岡県	グラス	ボーダーコリー	30	35	28	93
5位	河瀬 重治	富山県	ラン	ラブラドル	31	31	16	78 (31)
6位	水越 徹	東京都	せれ	ボーダーコリー	32	30	16	78 (30)
7位	田淵 義博	兵庫県	Sophia	ボーダーコリー	29	33	15	77
8位	新倉 謙吾	北海道	希々	ボーダーコリー	23	37		60
9位	一柳 浩一	佐賀県	らふ菜	ラブラドル	27	30		57
10位	友田 裕輔	奈良県	リラ	ラブラドル	36	20		56
10位	小寺 賢	東京都	LEE	ボーダーコリー	26	30		56
12位	吉田 耕一	京都府	こはる	ボーダーコリー	27	28		55
12位	田淵 義博	兵庫県	Knight	Aシェパード	27	28		55
14位	衣笠 拓敬	兵庫県	キャンディー	ストロングアイ	26	28		54
15位	杉本 繁郎	北海道	グレース	ボーダーコリー	21	32		53
16位	佐藤 茂	宮崎県	銀香	ボーダーコリー	21	31		52
16位	西山 哲也	兵庫県	CIEL	ボーダーコリー	27	25		52
18位	青柳 洋平	北海道	スノーピー	ボーダーコリー	17	31		48
18位	三本 欽麗	東京都	Raystar・Hose	ボーダーコリー	27	21		48
18位	上田 昌二	兵庫県	ルナ	ジャックラッセル	24	24		48
21位	大谷 光浩	東京都	いであ	ボーダーコリー	23	24		47
21位	友田 雅美	奈良県	ラム	ラブラドル	22	25		47
23位	大沢 弘和	北海道	サム	ボーダーコリー	22	24		46
23位	青柳 洋平	北海道	ライフ	NZハンタウェイ	21	25		46
25位	藤井 勝明	富山県	Spoon	ボーダーコリー	23	22		45
26位	大沢 弘和	北海道	ホリー	ラブラドル	27	16		43
27位	宮迫 裕二	京都府	アイビー	ボーダーコリー	19	23		42
27位	正木 成人	奈良県	さくら	フラットコートテッド	20	22		42
27位	伊奈 祐次	愛知県	ハックル	ボーダーコリー	21	21		42
30位	榊原 吉隆	愛知県	Beth・March	ボーダーコリー	28	12		40
30位	小寺 賢	東京都	LAH!	ボーダーコリー	26	14		40
30位	設楽 善弥	北海道	ニケ	ボーダーコリー	17	23		40
33位	友広 祐也	北海道	ムーン	ボーダーコリー	26	13		39
33位	竜門 道明	兵庫県	チーズ	ボーダーコリー	12	27		39
35位	仲林 謙治	三重県	ロプロス	ドーベルマン	21	15		36
36位	藤田 由紀	北海道	エルモ	ボーダーコリー	13	22		35
36位	富永 和彦	奈良県	アンリ	ESスパニエル	18	17		35
38位	増田 健	東京都	虎之助	Aシェパード	16	18		34
38位	山本 孝治	兵庫県	ナナ	ウィペット	22	12		34
40位	西山 哲也	兵庫県	WING	ラブラドル	27	6		33
41位	河野 賢一	愛知県	サンデー	ボーダーコリー	18	13		31
42位	増田 健	東京都	風子	Aシェパード	14	11		25
43位	渡辺 敬	兵庫県	レディー	ダルメシアン	11	13		24
44位	Kim Jong Nan	韓国	ウォル	ボーダーコリー	6	17		23
45位	田口 佳奈	岡山県	SENNA	ボーダーコリー	22	—		22
46位	直江 薫	愛知県	わん	ダルメシアン	11	11		22
47位	大山 竜太郎	大阪府	リンク	アイリッシュセター	6	14		20
48位	大谷 光浩	東京都	MINX	ボーダーコリー	13	6		19
49位	河上 徳次	福岡県	ユリア	Bターピュレン	12	6		18
50位	櫻谷 博昭	大阪府	キューティー	APブルテリア	0	16		16
51位	田村 健次	京都府	crazy	APブルテリア	8	8		16
52位	木原 寛隆	兵庫県	リッシュ	Aシェパード	7	0		7

## ◆A・W・Iディスタンス部門レディースクラス (2003年11月2日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
優勝	田口 佳奈	岡山県	LOVE	ボーダーコリー	22	26	24	72
準優勝	片岡 千賀子	香川県	ゆーり	ボーダーコリー	18	25	23	66
3位	稲葉 有紀	滋賀県	ウィンク	ボーダーコリー	19	21	23	63
4位	松澤 典子	兵庫県	グレイス	ファラオハウンド	18	20		38
5位	太田 由紀	愛知県	まりも	ダルメシアン	14	16		30
6位	山田 ヒロ子	岐阜県	CrazyMax	ボーダーコリー	11	13		24
7位	大谷 靖枝	東京都	ちっぷ	ボーダーコリー	16	4		20
8位	竜門 幸枝	兵庫県	ブレッド	ストロングアイ	4	7		11

## ◆第10回 記念トーナメント大会 (2003年11月2日) 72チーム参加

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	決勝戦ポイント
優勝	今村 英喜	熊本県	WEED	ウィペット	42
2位	丸島 康裕	千葉県	JENNIFER	ボーダーコリー	32
3位	荻野 隆行	大阪府	ココ	ラブラドル	15

### 第2日目

## 2003年度表彰式典 ウェルカムパーティー

ファイナル2日目の夜、Yahoo!BBスタジアム 4階 スカイレストランにて150名を超える選手と家族の皆さまにより表彰式典・ウェルカムパーティーが盛大に開催されました。表彰式では1年に渡る競技会で結果を出した人や特別賞の授与とおおいに盛り上がり、パーティーでは泣いたり、笑ったりした思い出を語り合いながら、料理やお酒を楽しみました。スタジアム内とは一転、和やかなムードで始まりまった表彰式典。パーティーでは飲みすぎた方もいるのでは?!



8年連続! グランドチャンピオンシップ出場  
左) 須藤亮さん 右) 団野悦朗さん



5年連続! グランドチャンピオンシップ出場  
左より) 仲林謙治さん、加藤典一さん  
中) 三本欽龍さん  
右より) 石田牧彦さん、小林正弘さん



年間シリーズランキングチャンピオン  
井上弘之さん



2003年度シリーズ選手権優勝者



2003年度シリーズ選手権ベスト10



1ゲーム100ポイントオーバー賞  
左より) 小林正弘さん、野呂瀬都夫さん  
中) 1ゲーム最高ポイント取得者、新倉謙吾さん  
右より) 田口佳奈さん、三本欽龍さん



2003年度のMIP 堀口勉さん



JFA初! 1ラウンド10ポイント×4  
三本欽龍さん



フリーフライト年間チャンピオン  
安田信二さん



自動車部門、遠征大賞  
大谷光浩さん、大谷靖枝さん



2年連続! 飛行機部門、遠征大賞  
大沢弘和さん、大沢久枝さん



小型犬の部年間チャンピオン  
梅田良平さん



ベアの部年間チャンピオン  
新倉謙吾さん、杉山美里さん  
北海道チーム



### 第3日目

グランドチャンピオンシップ  
 フリーフライトチャンピオンシップ  
 ロングディスタンスチャンピオンシップ  
 ・男子の部  
 ・女子の部  
 A・W・I World Championships  
 ・ロングディスタンス部門



▲JAPAN FINAL2003メインイベント、グランドチャンピオンシップがいよいよ始まりました。2003年度年間ポイントランキングベスト50位に入った53チーム。そして、敗者復活から勝ち上がってきた18チームを含め、総勢71チームでの日本最高峰グランドチャンピオンシップの大舞台の幕が開かれました。

グランドチャンピオンシップが行われたメインコートの周りは、たくさんのギャラリーが取り囲み、各チームが放つ一投一投に歓声が起こりました。第1ラウンドから30ポイントを超えるハイスコアの試合展開。2ラウンドを終了し、決勝進出ポイントはなんと61ポイントという高ポイントとなりました。

決勝ラウンドに進んだのは、北海道2チーム（飛弾野文泰&ラン／新倉謙吾&音々）、関東2チーム（三本欽麗&Kaiser・Hose／山口裕二&さくら）、関西1チーム（加部真巳&Mai）、九州2チーム（今村英喜&WEED／木村均&グラーチア）。いずれも今シーズン、激しいランキング争いをしてきた7チーム。日本一を決めるにふさわしい、北から南までの選手が揃った決勝ラウンドとなりました。



グランドチャンピオンシップ  
 2位 新倉謙吾 &音々 1位 今村英喜 &WEED 3位 加部真巳 &Mai

いよいよ日本一を決めるグランドチャンピオンシップファイナルラウンド、予選第1位から7位までのポイント差は僅かに3ポイントという波乱を思わせる決勝ラウンドを迎えました。予選7位新倉謙吾&音々チームが初っ端から37ポイントをマーク、それに続くチームも20ポイント後半をマークするも一歩及ばず。そこで予選4位今村英喜&WEEDチームが、完璧な60秒間の試合展開を見せ、なんと40ポイントをマークしました。予選ベスト3のチームは、40ポイント以上を出さなければ優勝できない状況に追いやられ、予選2位加部真巳&Maiチームが34ポイントを出すも及ばず、2003年グランドチャンピオンは、史上初のウィペットでの優勝。今村英喜&WEEDチームが、フリスビードッグの創始者、ウィペットでフリスビードッグスポーツをこの世に出し、生みの親であるアレックス・シュタイン氏の目の前で103ポイントを出し見事優勝を飾りました。また、2位が98ポイントで2チーム同ポイントとなり優勝決定のあとに2位決定戦が行われ、新倉謙吾&音々チームが32ポイント、加部真巳&Maiチームが31ポイントで、僅かに1ポイント差を持って2位が決定しました。



グランドチャンピオンシップ  
 4位 山口裕二&さくら 5位 三本欽麗&Kaiser・Hose  
 6位 飛弾野文泰&ラン 7位 木村均&グラーチア



▲フリーフライトチャンピオンシップノミネートチームは26チーム。frisbeeの華となるフリーフライトは、Yahoo!BBスタジアムに集まった多くの観客を魅了し、歓声を受け、世界にも通用する技の数々を各チームが披露していました。フリーフライトの採点基準は4項目。技の難易度・完成度・犬の飛び跳ね・ショーマンシップ。この項目のバランスの取れたハイスコアを出したチームが勝利を手にします。そして、日本一に輝いたのは、Ashley Wippet Invitational Canine Frisbeedisc World Championships.

2003で3位に輝いた、世界の早川利幸&BEETチームが優勝を飾りました。



フリーフライトチャンピオンシップ  
 2位 多々良憲司 1位 早川利幸 3位 林康男  
 &Core &BEAT &愛鈴  
 4位 高坂健一 5位 中尾園枝  
 &Mousse &楓こ



A.W.Iロングディスタンスの部  
 2位 一柳浩一 1位 杉尾祐児 3位 大山竜太郎  
 &らぶ菜 &テル &リンク



ロングディスタンスチャンピオンシップ  
 男子の部  
 3位 城本英巳 1位 今村英喜 2位 杉本繁郎  
 &果梨 &WEED &ミキちゃん



ロングディスタンスチャンピオンシップ  
 女子の部  
 2位 横山まゆみ 1位 松尾史恵 3位 半明知佳  
 &ナミ &ベル &アール



**第3日目**

**A.W.I.2003世界チャンピオン  
 Bob Evans&NICK**

Ashley Wippet Invitational Canine Frisbeedisc World Championships in Japan. (A.W.I) 注目の人といえば、Bob Evans (ボブ・エバンス氏) ジャパンファイナル3日目、ナイター照明の中アメリカからの招待選手Bob Evans氏&愛犬NICKによるfrisbeeのデモンストレーションを通じた交流がありました。最初はジョークを交えたデモンストレーション、次に見学者を巻き込んでのfrisbeeの投げ方講習。最後に見学者によるスローイングをNICKが見事なフィリップ (ジャンプキャッチ) を決め、競技会最終日の緊張した雰囲気の中、ここにはフレンドリーで楽しい時間が流れ、来日した人たちはもちろん、見学者・スタッフも皆笑顔で見守っていました。



# PURINA SKYDOG CHAMPIONSHIPS JAPAN FINAL 2003 in KOBE 参戦記



## Japanes Wippet Prolog

今村 英喜 **グランドチャンピオンシップ優勝**  
& **ロングディスタンスチャンピオンシップ(男子の部)優勝**  
WEED **第10回 記念トーナメント大会優勝**

初めに年間を通しJFAスタッフ、クラブ員の方々には大変お世話になり、ご尽力頂いた事を感謝すると共にお礼申し上げます。又、この2003年ジャパンファイナル10周年では、総決算にふさわしい会場、シチュエーションを与えて下さり本当にありがとうございます。

今回は、グランドチャンピオンシップとロングディスタンスチャンピオンシップの両部門において、優勝という栄誉を手に入れました。この成果に一番驚いているのは、何を隠そう私自身であります。各地区の大会ですら優勝を手にするのは容易ではありませんでした。それが年に一度のジャパンファイナルで2冠という思ってもない大きな成果を上げることができ、しばらくは実感できずにいました。

思えば昨年のジャパンファイナルではロングディスタンスに出場しましたが記録を残すことすらできず、他の選手達の活躍を羨んでいました。

当初2003年ジャパンファイナルへは、ロングディスタンスの出場を一番に考えておりショートディスタンスは諦めていました。それはWEEDの集中力が持続せず、理想的なゲーム展開ができなかったからです。しかし、後半戦になってWEEDの動きに安定性が出てきたのです。その結果、私自身もスローに集中することができるようになりました。

何がWEEDを変えていったのか思いつく点はこれとってありませんが、常に創意工夫と向上心を持ち続けていたことは確かでした。

この大舞台においてなぜあの様なプレーができたかは分かりません。ただ2003年を通し、あれ程気持ち良くプレーできた記憶はありません。

念願のグラチャンに出場できただけで、この場でプレーできるだけで、嬉しくとても心地よい感覚でした。勝負にこだわることなく、WEEDといつものプレーを楽しむことが結果に繋がったような気がします。そして何より私とWEEDに力強い声援を送って下さった方々の支えがあったからだと思えます。

今大会の勝利はジャパンファイナルではありますが、一つの公式戦であることも確かです。この栄誉に溺れることなく更なる向上心とチャレンジ精神を持ち続け、MCのMr. Yanさん曰く「ジャパニーズウィペットの歴史」を造っていきたいと思えます。

最後に今まで私がお世話になった方々にこの場を借りてお礼申し上げます。そして最高のパートナーであるピンゴママ、ピンゴ、WEED、ZORROに心から感謝します。

ありがとう!!

## グランドチャンピオンシップ2位 新倉 謙吾&音々

1年間、この日のためにやってきた。

嬉しい事にグラチャンに「音々」「希々」2頭エントリー、音々には112Pの公式記録、A・W・Iオープン優勝などたくさん良い思いをさせてもらった。希々に関しては、まだ若い分音々には及ばないものの、今年1年の躍進は正直自分でもおどろいている。何よりグラチャンに出場できたのだから。

1R、希々26P、音々24P、どちらもスローイングミス…。

他の選手がポイントを伸ばしている中、不思議とダメだとは思わなかった。攻めるだけ！ 気分的には楽だった。

2R、希々34P、音々37P、2頭とも本当に良くやってくれた。後は待つだけ。

2Rが全て終了、希々8位、音々7位で決勝Rへ。

最高に嬉しかった。希々がここまで成長し、頑張ってくれた事、音々と決勝の大舞台上に立てる事、やるだけやっつての準優勝!!

最高の舞台、最高の走り、最高のスロー、最高のゲームをできた事を誇りに思い、本当に楽しかったです。



音々、希々、応援してくれた皆さんに感謝します。ありがとうございました!!

## グランドチャンピオンシップ3位 加部 真巳&Mai

Maiと出会うまでは、ウェルッシュコーギーの遊とのチームで、夢のJAPAN FINAL出場を目指し頑張ってきました。2001年、公式カテゴリーに挑戦し続け、3年目にして遊と念願のJAPAN FINAL出場することが出来ました。JAPAN FINALグランドチャンピオンシップの魅了にとりつかれ、いつかは、あの決勝の舞台に、そしてグラチャンの表彰台に登りつめたい…。遊が6歳になったとき、ラブラドルのMaiとの出会い。

遊は自分をラブだと思っているかのようにラブラドルが大好き。仲の良い2匹とのフリスビードッグの生活が始まりました。今年、Maiとのチームで2年目の挑戦となったJAPAN FINAL。昨年は、シーズン途中から公式デビューをしたこともあって、最終戦を終えて公式ポイントが1ポイント不足、敗者復活戦へ参戦しファイナルノミネート権を得ました。そして2003年。公式ポイントランキング2位でJAPAN FINALヘノミネートを受け、ウェルカムパーティーでの表彰も受けることが出来ました。昨年一昨年と悪天候でのジャパンファイナル。今年は何が起こるのだろうかと不安でしたが、グランドチャンピオンシップ当日、雨こそ降ったものの風には恵まれ、1ラウンド30ポイント以上があたり前のようなハイスコアゲームに、プレッシャーというよりも逆に全国のトップチームの中でプレーできることの嬉しさで、心が躍る気持ちがしました。そして、夢だった決勝ラウンドにも進めることが出来、おまけに2位決定戦のラウンドまで戦えたことは、1ポイントで負けたものの悔いはなく、一年間の締めくくりを気持ちよく終えたことのほうが強かったです。Yahoo!BBスタジアムでのナイターゲーム、素晴らしいコートで多くの歓声の中プレーできたことは、良い思い出と共に今後の励みになりました。応援いただいた皆さん、そして一緒に戦ったプレーヤーの皆さんJAPAN FINAL2003お疲れ様でした！そしてありがとうございました!!

## グランドチャンピオンシップ4位 山口 裕二&さくら

スタッフの皆様、雨の中お疲れ様でした。お蔭さまで素晴らしいファイナルとなりました。参加できてとてもうれしく思います。

様々な幸運が重なり、思いもよらない決勝進出でした。背伸びをせず、ボクとさくらのゲームを心掛けた結果ではないでしょうか。これからも須藤さん・団野さんを目標に、少しでも長くさくらとフリスビーを楽しみたいと思います。



## グランドチャンピオンシップ5位 三本 欽麗&KAISER・HOSE

とても素晴らしい会場でプレイできて最高の気分です。

そして、何より今年はレベルが高かったと思います。

必ずグランドチャンピオンシップは、参加者、特にトップチームはコケルとジックスがあるくらいプレッシャーとの戦いの中、ナイスプレー続出だったと思います。

僕とカイザーのチームは、1R36ポイント、2R28ポイント(1本アウト)で予選通過1位、最高の位置でした。

決勝Rは、40ポイントを出さないと優勝できない状況でした。

名前を呼ばれ、スローイングラインに立ち、最高の舞台上で勝負!!

1投目…ディスクは高々と上がり左へ、カイザーはキャッチしてくれたのですがコートアウト、2、3、4投目(10+5+10)で25ポイント。

5位に終わりました。

とても悔しい決勝Rでしたが、攻めてミスをしたので後悔はしていません。

また来年グラチャンの決勝に残れるように来シーズンも頑張ります。

それと、一言…4投勝負のチームへ。  
5投6投チームに負けるな——!!!  
それと、もう一言…階段キツかった～～～。

### グランドチャンピオンシップ6位 飛弾野 文泰&ラン

まずは、今年も1年間頑張ってくれた我が家の犬達に感謝します！そして、今年も素晴らしいパフォーマンスを見せてくれた、全てのチームにありがとう！

ファイナルの決勝ラウンドには、いつも感動があります。あの場に立つと、自分と犬と応援してくれている皆の思いが1つになるのを感じます。

個人的には、またあの感動を味わう事が出来て、大満足のジャパンファイナルでした!!

来年も“あの感動を…”目指してランと紋次郎と共に頑張ります！



### グランドチャンピオンシップ7位 木村 均&グラーチア

全国各地からノミネートされたすばらしいチームの方々と共に、最高の舞台を提供して頂いた協会並びに協賛の方に感謝と感動を有難うと言う気持ちでいっぱいです。

私も、初めてのジャパンファイナル出場でしたが、自分なりに満足のいくプレーが出来さらに、7位入賞と言う結果を出せた事を誇りに思います。それと同時に今大会の結果に奮らずグラーチアと共にさらなる挑戦の第一のステップとして、今後、この大会で得た貴重な経験を生かし来シーズンに向けて、1つ1つステップアップ出来る様、又、すばらしい練習仲間と共に、来年のジャパンファイナルへ向けてノミネートされる様頑張っていきたいと思えます。



### 2002グランドチャンピオン 2003年間シリーズチャンピオン 井上 弘之&ゆふ

終わっちゃいましたね～、あっという間に…とっても楽しい3日間でした♪

えっと、まずはジャパンファイナル10th Anniversary おめでとうございます!!

ジョゼが優勝した第1回ゆめ牧場、たまたまTVで見ました。漠然と「わ～おもしろそ～俺もやりて～な～」と思っていただけでしたが、翌年、DIZZYと出会い、それが実現することになりました。もう楽しくて楽しくて、雨の日も風の日も毎日毎朝出勤前の遊びに夢中になっていた私を、当時のひろびんは半分不思議そうに見てたっけ…。

96年、初めて出場したジャパンファイナルは、コートがお椀状に傾斜してたりして、なんともひどい会場で行われたのですが、お天気もよくなるんぴりといいい感じ～でした。

そんなことを思い出しながら、Yahoo!BBのふかふかな芝に寝ころがっているのも楽しいひとときでした。しかし初日は暑かったですね。DIZZYは今年シニアのランキングチャンピオンをいただき、ユースにも東京代表としてエントリーできたんですが、この暑さじゃ両方出場はムリかな～って感じてました。でもユースにはDIZZYの孫(!)長野のピットと福岡のSAIも出場するので、どうしても一緒に出たかった。コートの中では7年前と変わらないDIZZYの元気な姿があり、同じ場所で子供の子供たちが楽しそうに走ってた。まさに至福の時でした。結局、順番を調整していただいてシニアで準優勝できたわけですが、3R、4Rと走り回ってヘトヘトのDIZZYが、ケージを出たとたん「まだやるまだやる」って決勝に向かう、相変わらずお調子者の姿を見ることができただけでも、幸せな気分になりました。(後日談になりますが、神戸から帰ってきてからのDIZZYはどこか若返ったようで、自慢げな顔つきでイタズラにいそんでいますよ(笑))

2日目はひろびんとゆふの出番。競技中のコメントにもありましたが、今年1年間「自称グラチャンを陰で支える女」を全うし、自らは病と闘いながらも私達をシリーズチャンピオンへと導いてくれ



たのです。そしてこの日の2人はとっても楽しそうにコンビばっちりのプレイを見せてくれました。めったにないUSアウトを2本も決めて「あそこまで飛ばしたのよ♪」とうれしそうなひろびんの笑顔がとっても印象的な1日になりました。

さて最終日、私とゆふの出番ですが、この日はこれまでどうしても勝てなかったチームに挑戦する意気込みで臨みました。それはदैいずい&DIZZYチームです！今思えばあれがシリーズチャンピオンへのプレッシャーだったのかどうか、後半戦に入ってから我が家の代名詞ともいえるエンジョイフリスビードッグをアピールできなくなりつつありました。それを敏感に察知し励ましてくれたひろびんと勇気づけてくれた大勢の仲間たち。みっつー、かよちゃん、み～さん、ゆ丸、メルパパ、ま～さん、ジュリビ。グラチャンの舞台では、みんなにももらったシリーズチャンピオンTシャツを身に付け、DIZZYチームに負けないうエンジョイぶりを見せたんねん！

結果、3本のスローミスで18位に終わったゲームとなりましたが、ミススローもうちのキャラクター、1本はゆふがカバーしてキャッチしてくれたし、昨年のグラチャンの時のようにとっても楽しいदैいずい&ゆふのプレイができて、達成感いっぱい、大満足です。そして来年こそはお母ちゃんに勝つぞ！と、ゆふも申しておりました(?)ワン。

最後になりましたが、最高のプレイでグランドチャンピオンを勝ち取ったWEED！おめでとう!!素晴らしい決勝で感動を与えてくれた、音々、Mai、さくら、カイザー、ラン、グラーチア！ありがとう!!そして、ファイナルに参加したみんなも、ファイナルを目指したみんなも、来シーズンまた一緒に素敵なフリスビードッグライフを満喫しましょうネ!!

### フリーフライトチャンピオンシップ優勝 早川 利幸&BEAT

今シーズンも一月からシーズンが始まり2月のロスで行われたAWI世界戦手権出たり、また各地の大会にいたりであっという間に過ぎていきました。

JFAジャパンファイナルも10周年記念大会ということで海外からのチームも参加したり大会が行われた会場のヤフーBBスタジアムも芝生の状態もすごくきれいで気持ちよくプレーする事ができました。

ビートとのチームでのジャパンファイナル参戦は3回目になります。ビートもことして4歳になり年齢的にもプレーから見てもだいが安定してきて一緒にプレーしていても安心してできるようになってきました。

一回目でグランドチャンピオンを取ることができ今年フリーフライトチャンピオンシップでいい結果が残す事ができればと思っていました。

AWI、グランドチャンピオンシップとかけもちと天候が悪く足場もすべりビートも足を取られながらも安定したプレーをしてくれてよく頑張ってくれて結果、フリーフライトチャンピオンをとることができて一年間をいい結果で終わる事ができました。

まだまだビートもフリスビー大好きで元気いっぱいまた今シーズンと変わらず来シーズンもビートのチームで大会に参戦し楽しんでいけたらと思っています。



### ロングディスタンスチャンピオンシップ(女子の部)優勝 松尾 史恵&ベル

小6年から出場してきたジャパンファイナルも、今年で3回目。

今年はベルのお産を予定していたので、5月以降試合に出ていませんでした。

それで前半戦で記録を出していたロングのみノミネートされました。

ベルは結局子犬を産みませんでした。2ヶ月のブランクは暑い夏とあいまってなかなか調子を戻す事が出来ませんでした。それで出場を断念していましたが、来年は高校入試でフリスビーは出来そうにないし、今年が最後かも知れないと思うとやっぱり少しでも可能性に賭けて見たいと思い、出場する事にしました。10日前から久しぶりにスローイングの練習に入りました。

練習は放課後。すぐに暗くなってしまうので、母に学校まで迎えに来てもらいすぐに近くのグラウンドへ。コーチはお仕事から急い



で帰ってきた父、そして ディスク拾いは弟。家族皆が私のジャパンファイナルのために1つになって 頑張りました。次第に距離も延びてきて、神戸へ出発する前には60mにとどくようになり、頼みのベルの走りも戻ってきました。

いよいよジャパンファイナル。練習は指定された時間だけ。なかなか思うように飛びません。雨の中、予選ではみんな距離が延びず私も48.81m。どうにか2位で決勝に残りました。よかった！

その後、昨年も受けたモルナー先生の御指導を受けることができました。「去年に比べてとても良くなったよ」と、褒めていただき 自信も出てきたし、距離もかなり出てきました。

のってきたところで、さあ決勝R。プレッシャーで力が入り、思うように 投げる事が出来ません。4投目、残り3秒で思いっきり投げました。

これがグングン延びて行く。ベルは余裕で追いつき、これを見事キャッチ。

ヤッター!! とても嬉しかったです。私も父も大喜び。

ベルを思いっきり抱きしめ、褒めてやりました。

落馬事故での手術をきっかけに、フリスビーを始めて6年半。投げる事さえ出来なかった頃から、いつかはチャンピオンになるかと誓い、父と一緒にやってきたフリスビー。これからも出来る限り、フリスビーを続けて行こうと思います。

最後に、いつも一緒に励ましてくれるお父さん、お母さん、弟、JFAの山田会長さん、上田本部長さん、モルナー先生、そして福岡支部やたくさんの方のフリスビードッグの皆さん、本当にありがとうございました。

### A・W・Iロングディスタンス部門優勝 杉尾 祐児&テル

ロングディスタンスを始めて一年、地元神戸で開かれるファイナルを目指して頑張ってきた結果公式ロングとA・W・I ロングディスタンス部門の代表に選ばれ感激！

そして思わぬA・W・Iでの優勝にビックリうれしく思います。

大会に参加するたびに、よき師匠、一柳さんや空野さん、そしてよき仲間O・F・D・Cの皆さんに指導してもらった結果だと思えます！ありがとうございました。

また、来年もファイナルにエントリーされるようにテルと一緒に頑張ります。



## ◆グランドチャンピオンシップ (2003年11月3日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
優勝	今村 英喜	熊本県	WEED	ウィペット	28	35	40	103
準優勝	新倉 謙吾	北海道	音々	ボーダーコリー	24	37	37	98 (32)
3位	加部 真巳	大阪府	Mai	ラブラドル	26	28	34	98 (31)
4位	山口 裕二	神奈川県	さくら	ラブラドル	32	31	26	89 (26)
5位	三本 欽麗	東京都	Kaiser・Hose	ボーダーコリー	36	28	25	89 (25)
6位	飛弾野 文泰	北海道	ラン	ボーダーコリー	26	37	24	87
7位	木村 均	熊本県	グラーチア	ボーダーコリー	32	31	14	77
8位	新倉 謙吾	北海道	希々	ボーダーコリー	26	34		60
8位	野呂瀬 さゆり	神奈川県	プリエ	ボーダーコリー	28	32		60
10位	大沢 弘和	北海道	サム	ボーダーコリー	30	29		59
10位	野呂瀬 さゆり	神奈川県	パッセ	ボーダーコリー	24	35		59
10位	早川 利幸	千葉県	BEAT	ボーダーコリー	25	34		59
13位	田口 久善	岡山県	SENNA	ボーダーコリー	23	35		58
13位	友田 裕輔	奈良県	リラ	ラブラドル	31	27		58
13位	団野 悦郎	大阪府	ケープ	ラブラドル	30	28		58
13位	水越 徹	東京都	せれ	ボーダーコリー	30	28		58
17位	大塚 裕	埼玉県	BINGO!	ボーダーコリー	27	30		57
18位	井上 弘之	東京都	ゆふ	ボーダーコリー	22	34		56
19位	大塚 裕	埼玉県	BRAVO!	ボーダーコリー	29	26		55
20位	小寺 賢	東京都	LEE	ボーダーコリー	29	25		54
20位	森 稔之	神奈川県	MISIA	ボーダーコリー	26	28		54
22位	団野 悦郎	大阪府	Hitomi	ラブラドル	24	29		53
22位	野呂瀬 郁夫	神奈川県	パッセ	ボーダーコリー	26	27		53
24位	安田 伸之	神奈川県	ガーフィー	ボーダーコリー	18	34		52
24位	眞田 知博	千葉県	Alliecha	ミックス	26	26		52
24位	稲葉 秀昭	滋賀県	ウィンク	ボーダーコリー	29	23		52
24位	藤田 淳	兵庫県	バルト	ボーダーコリー	28	24		52
28位	大谷 光浩	東京都	いであ	ボーダーコリー	31	20		51
28位	吉田 耕一	京都府	こはる	ボーダーコリー	25	26		51
30位	中尾 園枝	北海道	蝦夷羽流	ボーダーコリー	24	26		50
31位	岡 禎永	福岡県	グラス	ボーダーコリー	24	25		49
32位	原 英雄	滋賀県	パトラ	ボーダーコリー	25	23		48
32位	山口 裕二	神奈川県	こうめ	ラブラドル	18	30		48
34位	村井 淳二	岐阜県	天気	ラブラドル	23	24		47
34位	大岩 真一	千葉県	海	ボーダーコリー	23	24		47
36位	三本 欽麗	東京都	Raystar・Hose	ボーダーコリー	22	24		46
36位	堀口 勉	茨城県	アイチャン	ボーダーコリー	33	13		46
36位	安田 信二	鹿児島県	天	ボーダーコリー	31	15		46
36位	須藤 充	新潟県	チット	ミックス	23	23		46
36位	鱒坂 一郎	茨城県	ベル	ボーダーコリー	30	16		46
36位	小西 秀則	大阪府	パーティーナイン	ラブラドル	22	24		46
42位	松尾 至	長崎県	NOVA..	ボーダーコリー	21	24		45
43位	五十嵐 誠	茨城県	チョッパー	ボーダーコリー	26	18		44
43位	宮迫 裕二	京都府	アイビー	ボーダーコリー	22	22		44
43位	山本 孝治	兵庫県	ナナ	ウィペット	24	20		44
46位	河瀬 重治	富山県	ラン	ラブラドル	17	25		42
46位	古川 泰治	大阪府	ひなた	ラブラドル	26	16		42
46位	神原 吉隆	愛知県	ファンディアス	ボーダーコリー	26	16		42
49位	石田 牧彦	栃木県	サラ	ボーダーコリー	20	21		41
49位	田口 久善	岡山県	LOVE	ボーダーコリー	21	20		41
51位	若杉 美津夫	静岡県	メル	ボーダーコリー	26	14		40
52位	安田 信二	鹿児島県	ハーツ	ボーダーコリー	23	16		39

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
53位	仲林 謙治	三重県	ロブロス	ドーベルマン	24	14		38
53位	丸島 康裕	千葉県	JENNIFER	ボーダーコリー	28	10		38
55位	加藤 典一	東京都	富士丸	ボーダーコリー	14	23		37
55位	伊奈 祐次	愛知県	ハックル	ボーダーコリー	5	32		37
55位	柏 正雄	茨城県	金太郎	ボーダーコリー	24	13		37
58位	横山 泰久	高知県	ナミ	ボーダーコリー	10	24		34
59位	若杉 美津夫	静岡県	キャラ	ボーダーコリー	24	8		32
59位	坪井 俊雄	岡山県	トコ	ボーダーコリー	15	17		32
61位	村井 淳二	岐阜県	次元	ラブラドル	14	16		30
62位	山本 栄治	兵庫県	ウィリー	グレイハウンド	9	17		26
62位	小林 正弘	新潟県	ピピアン様	ボーダーコリー	20	6		26
64位	福尾 光一	岡山県	RUN	ボーダーコリー	9	15		24
65位	三本 華余子	東京都	Kaiser	ボーダーコリー	8	12		20
65位	田中 洋	大阪府	メロディー	ボーダーコリー	9	11		20
67位	友田 雅美	奈良県	ラム	ラブラドル	10	6		16
68位	田村 健次	京都府	crazy	APフルテリア	5	3		8
69位	藤井 勝明	富山県	Spoon	ボーダーコリー	0	—		—

## ◆フリーライトチャンピオンシップ (2003年11月3日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	1ラウンド	2ラウンド	決勝ラウンド	合計ポイント
優勝	早川 利幸	千葉県	BEAT	ボーダーコリー	35.5	15.0	33.5	84.0
準優勝	多々良 憲司	神奈川県	Core	ボーダーコリー	35.0	11.5	34.0	80.5
3位	林 康男	静岡県	愛鈴	ラブラドル	36.0	11.5	33.0	80.5
4位	高坂 健一	神奈川県	Mousse	ラブラドル	36.0	8.0	33.5	77.5
5位	中尾 園枝	北海道	楓こ	ボーダーコリー	32.5	12.5	31.0	76.0
6位	岡 美加	福岡県	グラス	ボーダーコリー	33.0	10.0	30.0	73.0
7位	千葉 光敏	北海道	マジック	ボーダーコリー	31.0	12.0	29.5	72.5
8位	堤 明英	佐賀県	ラック	ボーダーコリー	30.0	13.0		43.0
9位	小川 憲次	神奈川県	DAN	ボーダーコリー	32.0	10.0		42.0
9位	飛弾野 文泰	北海道	紋次郎	ボーダーコリー	34.5	7.5		42.0
11位	斉藤 昇	山口県	さくら	ボーダーコリー	32.5	8.5		41.0
11位	安田 信二	鹿児島県	ハーツ	ボーダーコリー	33.5	7.5		41.0
13位	柏 正雄	茨城県	金太郎	ボーダーコリー	30.0	10.0		40.0
14位	真鍋 宏行	香川県	キョウシロウ	Aキャトルドッグ	32.5	7.0		39.5
14位	横田 利丸	東京都	こなつ	ボーダーコリー	33.5	6.0		39.5
15位	石田 博英	千葉県	レックス	ボーダーコリー	30.5	8.0		38.5
16位	城本 英巳	北海道	果梨	ミックス	25.5	12.5		38.0
16位	松尾 至	長崎県	GLAY	ボーダーコリー	29.5	8.5		38.0
16位	原 英雄	滋賀県	パトラ	ボーダーコリー	31.0	7.0		38.0
19位	森田 薫	神奈川県	マリ	Gシェパード	31.0	6.5		37.5
20位	橋 達也	埼玉県	FENDI	ミックス	31.5	5.5		37.0
21位	村上 行弘	千葉県	Kelly	ボーダーコリー	33.0	3.5		36.5
22位	内藤 真二	兵庫県	パディ	ボーダーコリー	29.5	6.5		36.0
23位	大埜 幸二	愛知県	ウォレス	ボーダーコリー	27.0	6.5		33.5
24位	石田 博英	千葉県	蘭蘭	ボーダーコリー	30.0	2.0		32.0
25位	南 浩一	兵庫県	ロッキー	ボーダーコリー	26.0	3.5		29.5

## ◆ロングディスタンスチャンピオンシップ(男子の部) (2003年11月3日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	記録
優勝	今村 英喜	熊本県	WEED	ウィペット	63.21m
準優勝	杉本 繁郎	北海道	ミキちゃん	ラブラドル	58.82m
3位	城本 英巳	北海道	果梨	ミックス	58.61m
4位	今村 英喜	熊本県	ピンゴ	ボーダーコリー	56.41m
5位	飛弾野 文泰	北海道	紋次郎	ボーダーコリー	54.93m
6位	松尾 至	長崎県	GLAY	ボーダーコリー	52.90m
7位	宮永 修	長崎県	シェル	ボーダーコリー	50.88m
—	山崎 祐輔	高知県	ラガー	ボーダーコリー	記録なし
—	杉尾 祐児	兵庫県	テル	ラブラドル	記録なし

## ◆ロングディスタンスチャンピオンシップ(女子の部) (2003年11月3日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	記録
優勝	松尾 史恵	福岡県	ベル	ボーダーコリー	56.46m
準優勝	横山 まゆみ	高知県	ナミ	ボーダーコリー	49.23m
3位	半明 知佳	香川県	アール	ボーダーコリー	48.30m
4位	松尾 直美	長崎県	GLAY	ボーダーコリー	47.00m
5位	石川 純子	神奈川県	ジャッキ〜	ボーダーコリー	46.34m
6位	横山 まゆみ	高知県	アクセル	ボーダーコリー	42.14m
7位	松田 絵梨子	宮崎県	ラガー	ラブラドル	42.08m
8位	山崎 幸	高知県	サンダーボルト桃花	ボーダーコリー	33.43m
—	吉岡 恭子	岡山県	ダーズリン	ウエルシュコーギー	記録なし
—	河村 理恵子	兵庫県	たふと	ラブラドル	記録なし

## ◆A・W・ロングディスタンス部門 (2003年11月3日)

順位	氏名	出身地	犬名	犬種	記録
優勝	杉尾 祐児	兵庫県	テル	ラブラドル	58.62m
準優勝	一柳 浩一	佐賀県	らぶ菜	ラブラドル	57.85m
3位	大山 竜太郎	大阪府	リンク	アイリッシュセター	46.95m
—	一柳 浩一	佐賀県	らぶ蔵	ラブラドル	記録なし
—	空野 正志	兵庫県	あなん	ラブラドル	記録なし

**SKY DOG® SPORT** Vol.5

2003年 NOVEMBER発行

発行所 日本フリスビー犬協会  
〒951-8133 新潟県新潟市川岸町3丁目17番29号  
TEL 025-234-2100  
FAX 025-234-2101

ホームページ <http://www.frisbeedog.co.jp/>

印刷 新高速印刷株式会社

人間の寿命が長い理由のひとつは、食事から摂取するたん白質と脂肪が、理想的な比率であるからと言われています。私たちの70年にわたる研究の集大成であるプロプランは、たん白質と脂肪のバランスを、分子生物学や免疫学など様々な視点から徹底的に分析し決定しています。年齢や状態に合わせて最適な比率で配合された栄養は、効果的に愛犬の体のスミズミに行き渡り、より長く健康を支えていきます。あなたと愛犬の幸せが少しでも長続きするように。長い眼で見れば、プロプラン。ヒントは、人間の寿命の長さにあります。

人間の一生と同じ、と考える。



栄養がスミズミまで行き渡り、愛犬を守る。  
ピュリナ プロプラン、日本登場。



【子犬用】 【成犬用】 【シニア犬用】

毎月1,000名様「プロプラン パピーお試しセット」プレゼントキャンペーン実施中！  
プロプラン子犬用のサンプルをプレゼントいたします。ご希望の方は [www.proplan.jp](http://www.proplan.jp) からご応募下さい。